

伊勢湾台風と京ちゃん

今日 9 月 26 日は伊勢湾台風が名古屋周辺を襲った日である。当時、名古屋市立千種小学校 4 年生だった。林京香ちゃんも堀田小学校 4 年生である。先日も名古屋の「標高・浸水図」をもとに京ちゃんご家族に話をした。

忘れもしない伊勢湾台風の日には土曜日であり、昼には急いで下校した。その時も風が強かった。大きな台風が名古屋に近づくというので、早めに夕飯を食べた。風雨が次第に激しくなり、緊張しながらウロウロした。すぐに停電となり、ロウソクの明かりが頼りだった。

当時の窓ガラスは現在のようにアルミサッシでなく割れやすく、ガラスが割れる音が怖かった。窓枠に板を打ち付けていたが、その板がしなるほどで、兄と一緒に板を支えていた。木造長屋建ての 2 階の端に住んでいた。ガラスが割れると、天井が飛ばされるので、近所の人を手伝いに来てくれた。とにかく台風が通り過ぎるのを待った。風向きが変わると、別の方の窓枠を押さえた。

こうして数時間も必死で窓枠を押さえ、深夜に疲れ果てて眠りについた。朝早く起きると、空は快晴だった。大きな木が倒れており、台風のもの凄さを実感した。前にレポートに書いたが、これが 56 年後の今も記憶に残る伊勢湾台風である。その時、名古屋南部では高潮の被害に多くの人が苦しんでいたことを後から知った。

京ちゃんに伊勢湾台風の「つづき」を話すため、1994 年発行の『瑞穂区誌』を手にしてみた。

写真上は伊勢湾台風による名古屋市の浸水状況である。瑞穂区の半分ぐらい浸水区域だ。色が濃いところは、10 月 3 日現在浸水区域であり、名古屋南部の大半が台風から 1 週間経っても水が引いていない。

「瑞穂区においても、台風による高潮の逆流のため、山崎川の堤防が荒崎町地内で決壊し、ここから流入した濁水のため低地域である御劔・高田・堀田の 3 学区の市電沿線から新堀川までの区域と井戸田学区南部及び穂波学区の大部分は床上浸水となり、その水深は 1~2m に達した」

写真下は台風後の堀田付近である。「商業地域も被害を受け、堀田駅前付近は 90%、雁道電停付近は 70%が被災



した。これは、瑞穂区の商業分布からみると約 60%の被害に当たった。工業地域は堀田通以西及び国道 1 号以南に全体の 70%が集中していたが、この全域が浸水したため、工業関係の被害は甚だ大きなものになった。とくに長期浸水地域には中小企業の工場が多く密集し、また製造業が多かったため、水没による工作機械の損害は大きく、操業再開を困難なものにした」

ところで、京ちゃんが通う堀田小学校は、大丈夫だっただろうか。その頃は堀田付近ではなく、現在の瑞穂生涯学習センターのところにあったはずだ。1980 年に現在地に全面移転したと思う。

京ちゃんの家がある下坂町を含め、当時の堀田小学校付近の状況についても知りたいものだ。

(2015 年 9 月 26 日)